



# 雲南市議会議員 梶谷よしひら よしひら通信

# 13号

令和6年 1月

令和5年12月議会 一般質問

## 問1

### 財政健全化について

地域の宝である、子供たち・市民を守るため、中山間地域の自然を守っていただく方のため市の対応を期待し、質問に関して次の様な問題提起を行いました。

雲南市の実質公債費比率(単年度比率)が、令和3年度10.5%、令和4年度11.1%と財政状況は厳しさを増しているが、このままでは18%を超えるのではないか。

※「実質公債費比率」とは、平成17年度から全国自治体で導入され、地方公共団体の一般財源の標準的な規模に占める全ての会計の公債費(市の借金を返済するための経費)。

実質公債費比率が18%を越えた場合どうなるか

回答 西村健一総務部長

18%以上の場合、地方債の発行には知事の許可が必要となる。更に、地方債返済の適正化を図るため、公債費負担適正化計画の策定が必要。25%以上の場合も地方債発行に知事の許可が必要。上、財政健全化計画の策定が義務づけられる。35%以上の場合、総務大臣の管理下に置かれ、財政再生計画を策定する義務が生じ、公共工事の圧縮・市長以下市職員・市議会議員、市関連機関職員の給与等のカットもありうる。

健全財政の維持には実質公債費比率をどの程度にすべきか

回答 西村健一総務部長

15%程度を目安にコントロールして行くことが必要。令和4年度の県内の状況は、松江市9.9%、浜田市10.8%、益田市10.5%、雲南市10.8%、江津市11%、大田市11.1%、出雲市12.5%、安来市13.7%。

回答 石飛厚志市長

15%程度を目安とするためには、事業の効果や必要性を見極めた執行が必要であり、加えて事業財源はできるだけ有利なものを活用することに努める。国に対しては、地方交付税制度等の改正要望を行うと同時にふるさと納税の確保が必要。

建築物は、材料や企業は地産地消が必要ではないか

回答 石飛厚志市長

木材活用は、脱炭素計画の実現の中でも一つのテーマ。予算執行は、市内経済や市内発展に向かって有効に働くように工夫が必要。

国や県の補助事業を積極的に活用すべき。全職員が情報収集を行うべきではないか

回答 石飛厚志市長

国・県の交付税措置率の高い有利な起債や財源を積極的活用することは非常に大事。令和6年度予算では、国・県補助金等の積極的

活用を掲げ当初予算編成を行っている。有利な起債や財源を積極的活用する視点は、職員一人一人が持ち、主体的に情報収集に努めることが必要。

## 問2

### 鳥獣被害対策について

雲南市の鳥獣被害対策専門員の採用状況等について

回答 落合正成農林振興部長

11月から会計年度任用職員として1名、鳥獣対応の専門員を採用した。県の鳥獣専門員と当方の職員・猟友会の方が一緒になって、市民への研修対応を行っている。

鳥獣被害にあった農地等への復旧支援を求める

回答 落合正成農林振興部長

農地等に対する支援は無い。防護柵等を設置しても被害が有る場合、現地において専門員等による設置指導を逐次実施。

鳥獣被害対策実施隊の設置状況について

回答 落合正成農林振興部長

### ① 実施隊の構成

市長が任命する市農林振興課職員8名。

### ② 活動実績

現場に向き、猟友会と共同で被害対応や防護のため

の勉強会や指導を行っている。

## 問3

### 熊への対応について

熊との遭遇を避けるため、バスによる通学支援を求める

回答 景山明教育長

スクールバス等を利用できる児童は、遠距離通学等の条件を満たした児童生徒。今年度は、クマが例年になく多く出没している地域の保護者からの要望があり、12月まで市民バスの利用を特別に許可した。しかし、自宅までの送迎はバスの増便・路線変更が必要であり、現実的には難しい。

回答 石飛厚志市長

子どもたちに、クマに自分の存在を知らせるため「クマよけの鈴」での安全対策を図っている。今後も地域の皆様の声に寄り添う形で、行政としてでき得ることをしっかりと対応したい。

鳥獣の潜み場となるヤブや雑木林の整備費用補助支援を求める

回答 落合正成農林振興部長

鳥獣緩衝帯確保補助金はない。中山間地域直接支払い補助金の中で対応いただきたいが、中山間地域直接支払い補助金を受けていない方への対応は要望として承る。

<https://kajitani.site>

梶谷よしひら後援会事務所  
発行責任者 梶谷佳平

〒699-1113 雲南市加茂町東谷 1313  
電話・FAX 0854-49-6399



# 12月議会 所感

12月の一般質問は、①今後の雲南市の財政健全化に向けた取り組み姿勢として、約30年前に建てた公共施設老朽化への対応が計画されており、財政圧迫の懸念、②鳥獣被害に悩む市民への支援、③クマの出没に対する通学支援等をテーマに質問を行いました。

12月一般会計補正予算では、約5億8,300万円の減額（主要因は、令和3年度災害復旧費（約9億円）を令和6年度へ繰り越したこと）と追加補正で3億9,991万円の増額（主要因は、物価高騰対応非課税世帯等臨時給付金（約2億3千万円：3000世帯へ給付）が提案され、可決となりました。

## 主な補正予算等

1

### 市民バス運行事業

補正額 9,567千円/補正後予算 174,341千円

一畑バス大東線の路線廃止計画が出た。

利用者の移動手段を確保して行く必要があるため、代替交通の検討を進める。廃止された場合の代替交通については松江市と協議を進める。



2

### 道路施設整備事業

補正額 20,000千円/補正後予算 66,700千円

市道元天神大別成木線の路肩崩壊に伴う整備事業。

令和5年7月7日～11日の降雨により三刀屋川の流量が増し、既設のブロック積護岸が沈下。そのまま放置すると護岸の浸食による市道の崩落が懸念されるため、河川護岸は島根県、市道は雲南市が施工する。

3

### 公共土木災害総務管理事業

補正額 83,040千円/補正後予算 105,150千円

市道多久和六重線地すべり調査業務委託（追加）に係る予算増。

4

### 大東高等学校特別支援事業

補正額 16,200千円/補正後予算 16,200千円

大東高校の定員削減を踏まえた緊急かつ特別支援策として、民間住宅の貸与による寄宿舍を整備（改修）し、遠方からの入学者の確保・増加を目指す。2024年4月の供用開始。食事の提供やハウスマスターの配備は地域住民の協力が欠かせない。

5

### 小学校特別支援学級設置事業

補正額 11,572千円/補正後予算 11,572千円

令和6年度に加茂小学校及び田井小学校に特別支援学級増設に伴いエアコンを設置。加茂小学校には、受電設備の増設工事を実施。



6

### 物価高騰対応非課税世帯等臨時給付金

補正額 235,965千円/補正後予算 235,965千円

低所得世帯への支援のため、住民税非課税世帯に対して1世帯当たり7万円を追加給付する。



梶谷よしひら  
公式WEBサイト

その他の案件に関しましては、サイト  
をご覧ください